

公安委員会定例会議(第32回)の開催状況

第1 日 時 令和6年12月18日(水)
午後2時07分 ～ 午後4時45分

第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 小野委員説示

本日は、本年11月26日に新居浜市において新居浜市及び四国中央市の警察、消防、自治体が合同で取り組んだ「土砂災害現場を想定した実践的災害警備訓練」を視察した感想をお話ししたいと思います。

訓練は、民間企業に協力いただいて採石場をお借りし、土砂災害が発生した想定で、警察、消防、自治体の各機関が連携しつつ、それぞれの役割を実践し確認する内容でした。

訓練では、合同指揮本部が設置され、ドローン、オフロードバイク、ヘリコプターなどを使用した情報収集、初動対応の方針、各部隊の活動や連携などが次々と決定し、参加者は真剣な表情で取り組んでいました。訓練の中で特に印象的だったのは、県警察のヘリコプターによるホイスト救助、生き埋めを想定した要救助者の救出救助、断崖孤立地におけるロープを使用した救出救助の訓練です。各隊員が安全面にも配意しつつ迅速・的確に活動する様子を目の当たりにし、いかに日頃から訓練に励み、準備を整えているかが分かり、感銘を受けました。また、指揮本部においても、情報共有や各機関の役割分担、スムーズな指揮ができており、災害現場での混乱を最小限に抑えるための体制が整っていることを実感しました。

一方で、訓練を通じて課題も明らかになったように思います。例えば、機材を投入するポイントやタイミング、変化する現場における二次災害の防止、個々の隊員が訓練で感じ取った気付きなどです。今後、浮き彫りとなった課題を検証し、改善を図っていくことで、各機関の連携や対処能力はさらに強化されると思われます。

今回の訓練を視察し、各機関が一丸となり、地域住民の安全・安心を守るために尽力されている姿に深く敬意を表するとともに、1人を救助するためには多くの隊員の力が必要であることを改めて知ることができました。また、我々企業経営者としては、南海トラフ地震や各種災害の発生時に被害を最小限に抑えるためにはどうすべきかを考え、避難訓練、迅速な連絡、応急処置などの重要性を再認識する機会になりました。

こうした実践的な訓練は、地域全体の防災力向上につながると確信しています。訓練に参加した皆様に対し、心より感謝を申し上げますとともに、今後も各機関が連携して訓練に取り組み、災害対処能力のさらなる向上を図っていただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和6年第31回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 公安委員会宛て苦情の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。

(3) 公安委員会宛て苦情の受理及び回答

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理及び回答について伺いがあり了承した。

(4) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

(5) 愛媛県公安委員会事務専決規程の一部改正

総務室から、愛媛県公安委員会事務専決規程の一部改正について伺いがあり了承した。

(6) 愛媛県監査委員に対する改善措置報告

警務部から、愛媛県監査委員に対する改善措置報告について伺いがあり了承した。

(7) 禁止命令等実施報告

生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。

(8) 審査請求に係る裁決書の決裁

交通部から、審査請求に係る裁決書の決裁について伺いがあり了承した。

(9) 特定自動運行計画に係る許可

交通部から、特定自動運航計画に係る許可について伺いがあり了承した。

(10) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、16件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 令和6年度第2回警察署協議会の開催状況

総務室長から、令和6年度第2回警察署協議会の開催状況について報告があった。

委員から、「協議会では、委員からの率直な意見を聞くことができ、警察署運営に役立っていると感じた。住民の多くが不安に感じている特殊詐欺被害などについて、協議会委員の意見・要望を踏まえた対策を講じていただきたい」との発言があった。

委員から、「今回出席した協議会では、災害対策に関する意見を伺ったが、協議会の委員は地域の弱点や問題点をよく把握していると感じた。こうした意見を地域に拡散し、防災意識を高めていくことが重要だと思う」との発言があった。

委員から、「協議会は、地域と警察署の信頼関係を構築する良い機会である。地域に密着した情報交換は住民の安全・安心につながることから、今後も協議会の活性化を図っていただきたい」との発言があった。

(2) 令和7年「110番の日」の広報行事の実施

生活安全部長から、令和7年「110番の日」の広報行事の実施について報告があった。

委員から、「真に必要な110番通報に対応するためにも、いたずら電話や誤接は防いでいかなければならない。適切な110番通報がなされるよう広報啓発に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「110番通報の内容は、緊急性の高いものから低いものまで様々だと思うが、国民の生命・財産に関わる業務であることから、受理する警察官は、守るべきものが守れるよう、迅速かつ機転の利いた対応力を身に付けていただきたい」との発言があった。

委員から、「市民が110番通報をすることは減多になく、大変なことだと思う。いたずら電話や誤接をなくし、適切な利用がなされるよう、高校生など若い人を巻き込んでいろいろなアイデアを出し合い、広報行事に取り組んでいただきたい」との発言があった。

(3) 令和6年度鑑識・科学捜査技術研究発表会の開催結果

刑事部長から、令和6年度鑑識・科学捜査技術研究発表会の開催結果について報告があった。

委員から、「鑑識係員が一生懸命に取り組んでいることがよく分かった。研究成果に改善を加え、実用化を目指して引き続き頑張っていただきたい」との発言があった。

委員から、「最近の捜査はテクノロジーの重要性が増している。こうした研究発表会を通じて問題意識を持ち、アイデアを出し合ってスキルの向上に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「研究の多くが生活に密着した市販の化粧品や清掃用具など安価な物を使用しており、アイデアが素晴らしい。限られた予算の中、工夫して鑑識技術の向上に取り組む姿勢に感心した」との発言があった。

(4) 令和6年「年末の交通安全県民運動」の実施

交通部長から、令和6年「年末の交通安全県民運動」の実施について報告があった。

委員から、「飲酒運転やいわゆる「ながらスマホ」の危険性を粘り強く訴え、自転車の安全利用を推進していただきたい」との発言があった。

委員から、「交通事故による死者数が昨年より増えたことは非常に残念である。年末に向け、取締りや各種対策を推進して県民の交通安全意識の向上を図り、交通死亡事故ゼロを目指していただきたい」との発言があった。

委員から、「横断歩行中の事故が多く痛ましい。年末にかけて忘年会など飲酒の機会が増えることから、警察官の姿やパトカーなど見せる警戒で注意喚起を図り、交通事故抑止に努めていただきたい」との発言があった。

(5) 土砂災害を想定した実践的災害警備訓練の実施

警備部長から、土砂災害を想定した実践的災害警備訓練の実施について

て報告があった。

委員から、「各機関の連携は重要で、特に警察と消防は人命救助の最後の命綱であることから、今回の訓練で連携を確認できたことは良かった。使用する機材についても計画的に更新するなど、災害に備えて関係機関の相互協力と機材更新に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「実際に訓練を視察したが、寒い中、参加者が緊張感を持って取り組んでいたのが印象的であった。救出救助の方法が丁寧で、要救助者に配慮しており、隊員同士が協力しながら活動する姿勢に感心した。我々としても、災害への備え、被災した際の行動要領などについて見直すきっかけとなった」との発言があった。

委員から、「民間企業の協力を得て予算をかけずに大規模訓練に取り組めたことは意義深い。災害がいつ発生するか分からない中、こうした訓練に取り組むことが大きな安心感につながる。また、職員が体力を温存していなければ過酷な環境下での救出救助活動に従事できないことから、その点にも配慮していただきたい」との発言があった。

(6) ランサムウェア被害の情勢・対策等

情報通信部長から、ランサムウェア被害の情勢・対策等について報告があった。

委員から、「暗号解読は非常に難しく、苦労していることがよく分かった。専門知識が必要で対策は困難だと思うが、警察庁などと連携を深めるとともに、被害者には攻撃者の要求に屈することなく警察に届け出るよう広報啓発をお願いしたい」との発言があった。

委員から、「被害に遭わないために、企業側もウイルス対策ソフトの導入、怪しいメールは開かない、送信元に確認するなどのセキュリティ対策を社員に周知し、セキュリティ意識の向上に努めることが必要である」との発言があった。

委員から、「思わず開いてしまうようなメールを送ってくるなど、攻撃側の手口は巧妙である。相手方の確認に努めるなど、警戒心を常に持っておくことが重要だと感じた」との発言があった。

(7) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関して報告があった。

4 その他

本部長から、「委員から、災害警備訓練についてお話をいただいた。今回の災害警備訓練によって、隊員の練度向上はもとより、マスコミを通じて今回の訓練が報道されたことで、県民の危機意識を高める効果もあり、2つの側面で重要だと思っている。今後も両面での効果を最大化できるよう工夫しながら訓練に取り組んでまいりたい」との発言があった。

以 上